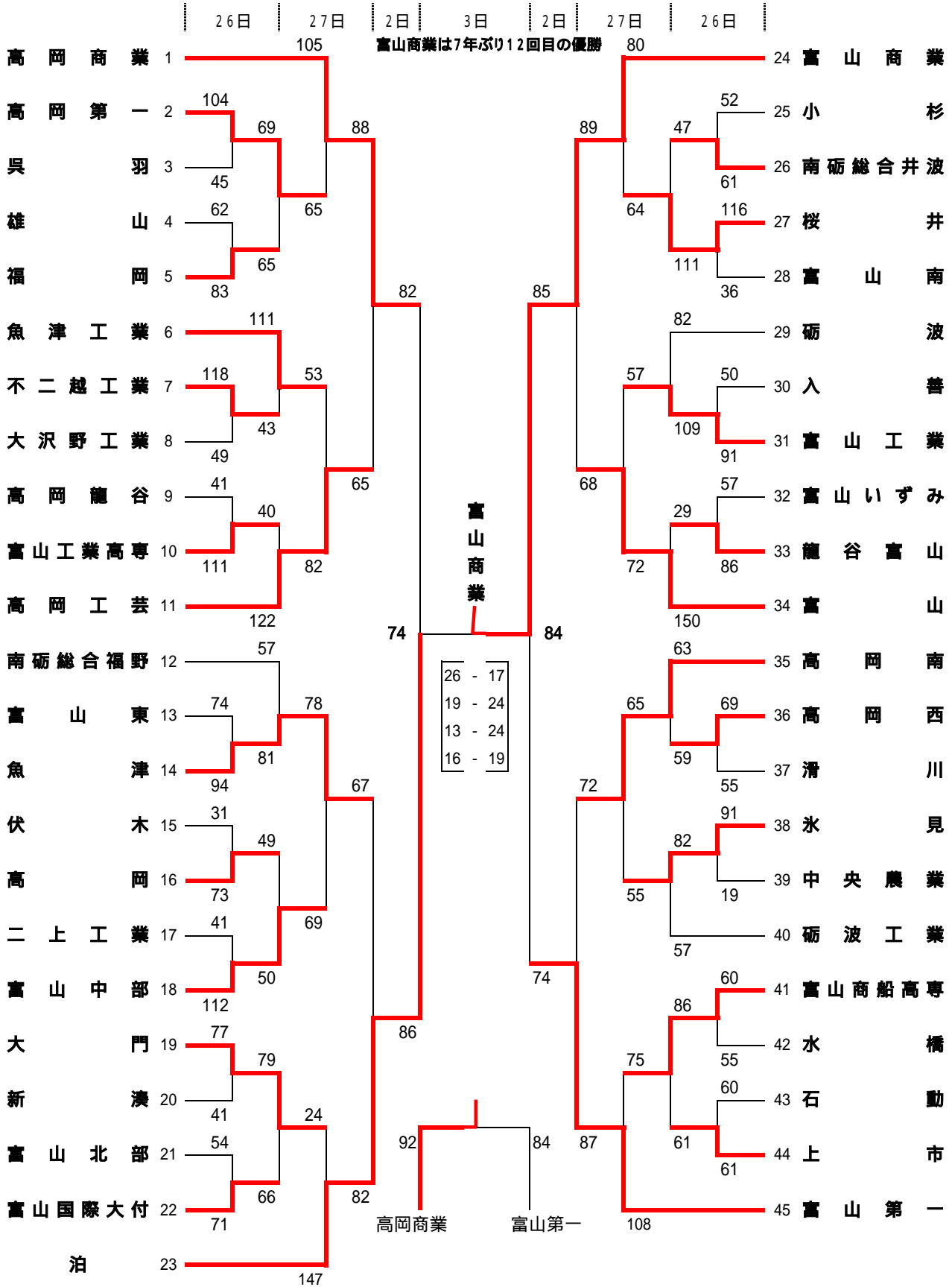


平成19年度富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技結果

期 日 平成19年5月26日(土)・27日(日)・6月2日(土)・3日(日)

男子



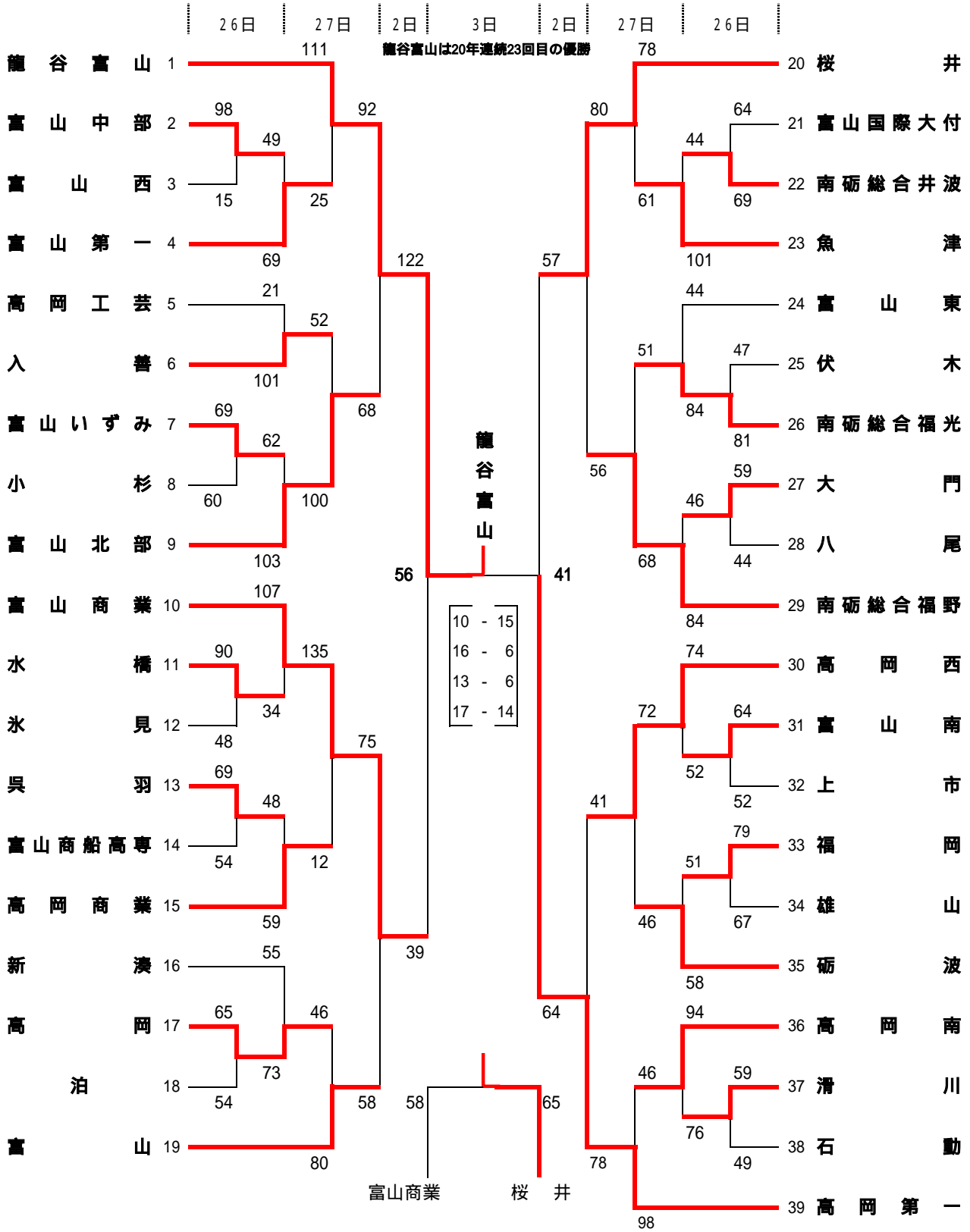
平成 19 年度 第 60 回 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 選評

2007 年 6 月 3 日 (日)		会場：富山市総合体育館									
男子 試合 Q 4		決 勝 戦									
勝ちチーム 富山商業	8 4	<table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>1 7</td><td>2 6</td></tr> <tr><td>2 4</td><td>1 9</td></tr> <tr><td>2 4</td><td>1 3</td></tr> <tr><td>1 9</td><td>1 6</td></tr> </table>	1 7	2 6	2 4	1 9	2 4	1 3	1 9	1 6	7 4 負チーム 泊
1 7	2 6										
2 4	1 9										
2 4	1 3										
1 9	1 6										
選 評											
<p>どちらもハーフコートのマンツーマンで始まった。富山商業は 3 P シュート，泊は 3 P シュートと速攻から得点を重ね、序盤は泊がリードでゲームが動く。1 Q 残り 5 分で富山商業が逆転するが、泊は 3 - 2 のゾーンディフェンスに切り替えた。富山商業が攻めきれず、点差が広がった。結局 1 Q は 2 6 - 1 7 の 9 点差で泊がリードする。2 Q に入っても泊はゾーンディフェンスで守りを固めるが、富山商業のミドルシュートが決まり出し、点差が縮んでくる。2 Q の残り 4 分には泊のリードは 4 点差となるが、4 番のパス回しやシュート、8 番の 1 対 1 など得点を重ねる。一方、富山商業はアウトサイドからのシュートを中心に攻め、応戦する。2 Q を終え泊の 4 点リードでハーフタイムに入る。</p> <p>3 Q も一進一退の攻防が続き、点差がなかなか縮まらない。しかし富山商業の 4 番・9 番・1 5 番などの外角からのシュートが決まりはじめ、富山商業が 3 Q 残り 3 分ずついに逆転する。そのまま 3 Q は 7 点差で富山商業がリードして終了。4 Q になっても富山商業の勢いは続き、点差はジリジリ広がっていく。泊は残り 2 分、オールコートディフェンスでプレッシャーをかけるが及ばず、結局攻守にわたってねばり強く闘った富山商業が、7 年ぶり 1 2 回目の優勝を果たした。</p>											
記録者：加藤 雅彦		所 属：富山県高体連専門部									
主 審：安カ川 剛士		副 審：北村 将人									

平成19年度富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技結果

期 日 平成19年5月26日(土)・27日(日)・6月2日(土)・3日(日)

女子



平成 19 年度 第 60 回 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 選評

2007 年 6 月 3 日 (日)		会場：富山市総合体育館									
女子 試合 Q 3		決 勝 戦									
勝ちチーム 龍谷富山	5 6	<table border="1"> <tr><td>1 0</td><td>1 5</td></tr> <tr><td>1 6</td><td>6</td></tr> <tr><td>1 3</td><td>6</td></tr> <tr><td>1 7</td><td>1 4</td></tr> </table>	1 0	1 5	1 6	6	1 3	6	1 7	1 4	4 1 負チーム 高岡第一
1 0	1 5										
1 6	6										
1 3	6										
1 7	1 4										
選 評											
<p>本大会 19 連覇中の龍谷富山、対する高岡第一もディフェンスはマンツーマンでスタート。序盤は互いにインサイドへのドライブインを積極的に試み互角の戦い。どちらもミドルショットは厳しいチェックに阻まれ思うように得点できない。高岡第一は積極的なカットインでリードし、4 番辻の 3 P も決まり 10 - 15 で第一 Q 終了。第 2 Q 龍谷富山はディフェンスを 1-2-2 ゾーンに変更し、高岡第一は得点できなくなる。一方の龍谷富山も積極的なディフェンスに阻まれ得点できなかったが、途中高岡第一のミスにつけ込んだ速攻を連続で決め、4 分経過の時点で逆転する。勢いがついた龍谷はミドルショットも決まり始める。高岡第一はディフェンスをオールコートに切り替えてプレッシャを強め簡単にはリードを広げさせず、26 - 21 で折り返しとなった。</p> <p>後半両チームともディフェンスで粘り、互いにフィールドショットでの得点を許さない。4 分経過するも、両チームの得点はフリースローのみ。まもなく龍谷 5 番野尻がジャンプショットを決めると、高岡第一 7 番三箇もミドルショットを決めほぼ互角。しかし龍谷富山は徹底的にインサイドを守りながら、5 番野尻の 3 p や 6 番左合のゴール下を決めじわじわと差を広げ 39 - 27 で第 3 Q 終了。第 4 Q 開始まもなく高岡第一 6 番谷村が 3 p、9 番中川もオフェンスリバウンドから得点し粘りを見せる。しかし龍谷富山 5 番野尻の 3 p など、簡単には追いつかせず、12 点差は変わらぬまま 4 分経過。ここで何とか差を詰めた高岡第一は 7 番小林にボールを集め 3 p を狙うが、龍谷富山も 6 番左合の高さを生かしたシュートや 5 番野尻の 3 p で応戦する。残り 1 分、高岡第一はフロントコートでボールを奪い得点するもすでに遅く、56 - 41 で龍谷富山が 20 年連続 23 回目の優勝を飾った。</p>											
記録者： 河上 直人		所 属：富山県高体連専門部									
主 審： 構 富士雄		副 審： 谷口 裕嗣									